

～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

親友とのつながり

親密になる理由は  
ライフスタイルにあり

「親友はどのような関係の人か」を調査したところ、学部生は「課外活動の仲間」(64%)、「寮や下宿の仲間」(64%)が高く、「ゼミナールや研究室の仲間」(22%)は低い。この結果は、学部生のライフスタイルを色濃く反映しており、クラブやサークル活動、寄宿下宿生活でのつながりから仲が深まるようだ。

一方、大学院生は「ゼミナールや研究室の仲間」(79%)がダントツで、次位の「寮や下宿の仲間」(30%)とは50ポイント近い開きがある。こちらは研究活動を通して交友を育むケースが多いといえる。

出身地が近いのは  
心強い共通点

大学院という未知の世界に少し不安を抱いていた入学当初、どちらからともなく声を掛け、同じ中国地方出身(原田:山口県、高濱:鳥取県)ということで緊張がふっと和らいだのを覚えています。上級生が開いてくれた歓迎会で話した時、互いの経歴でつながっている部分があると分かり、一気に仲良くなりました。今では自主的な学びのパートナーとして、かけがえのない存在です。



はら たかし  
原田隆史さん

大学院  
専門職学位課程  
学校経営コース2年

たか はま よし ひこ  
高濱禎彦さん

大学院  
専門職学位課程  
学校経営コース2年

趣味や嗜好が  
似た者同士

私たちは寄宿舎の歓迎会で知り合い、仲良くなりました。休日は三田のアウトレットで買い物したり、京都へ遊びに行ったりと楽しく過ごしています。趣味や嗜好に共通点が多く、一緒にいると新しい発見がたくさんあり、とても面白いです。また、どちらかが風邪をひいて寝込んだ時には、もう一人が食べ物を買いに行くようにしています。勉強のことも恋愛のことも、何でも腹を割って話せます。



はし もと さ なみ  
橋本紗波さん

大学院修士課程  
臨床心理学コース1年

から さわ し ず か  
唐澤志瑞香さん

大学院修士課程  
文化表現系教育コース  
[芸術系教育分野(音楽)]1年

1年生の時のセミナー合宿で出会い、夜遅くまで語り合ったのが付き合いの始まりです。キャンパスでは授業や食事など行動を共にし、寄宿舎に戻ってからどちらかの部屋でゲームをして遊んでいます。睡眠以外のほとんどの時間は一緒にいるような感じですが、もちろん、勉強の面でも刺激し合い、また、相談相手としても最も信頼できる存在です。

ばん どう ひろ き  
坂東宏紀さん

学校教育学部  
社会系コース4年



遊びも勉強も  
最良のパートナー

あずま こう き  
東航生さん

学校教育学部  
言語系コース4年

親友はどのような関係の人か(複数回答可)

※学内に親しい友達がいると回答した者のみ

